

「今」からみんなで考えよう! 公共施設の将来

～【第1回】公共施設が抱える課題と今後の取り組み～

市では平成28年3月に「行田市公共施設等総合管理計画」を策定し、今後40年間の行田市の公共施設の基本的な考え方をまとめました。ここでは、公共施設を取り巻く現状と課題、将来世代の負担軽減に向けた取り組み目標などを紹介します。

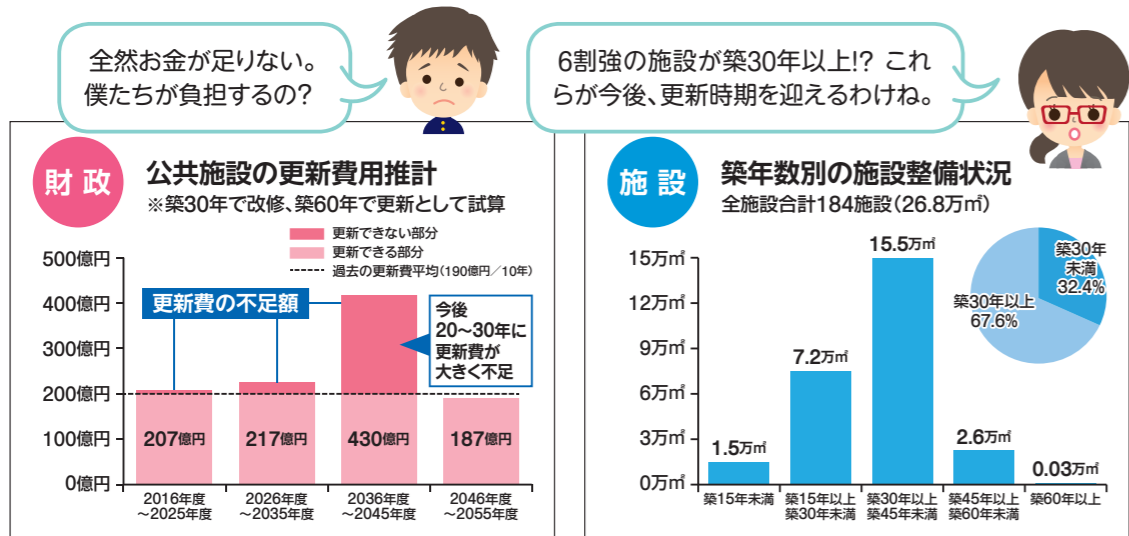
行田市の公共施設はどうなっているの? (行田市公共施設等総合管理計画より)

ではどうすればいいの?

公共施設の今後の取り組み目標 (行田市公共施設等総合管理計画より)

目標達成に向けた公共施設マネジメントの取り組み

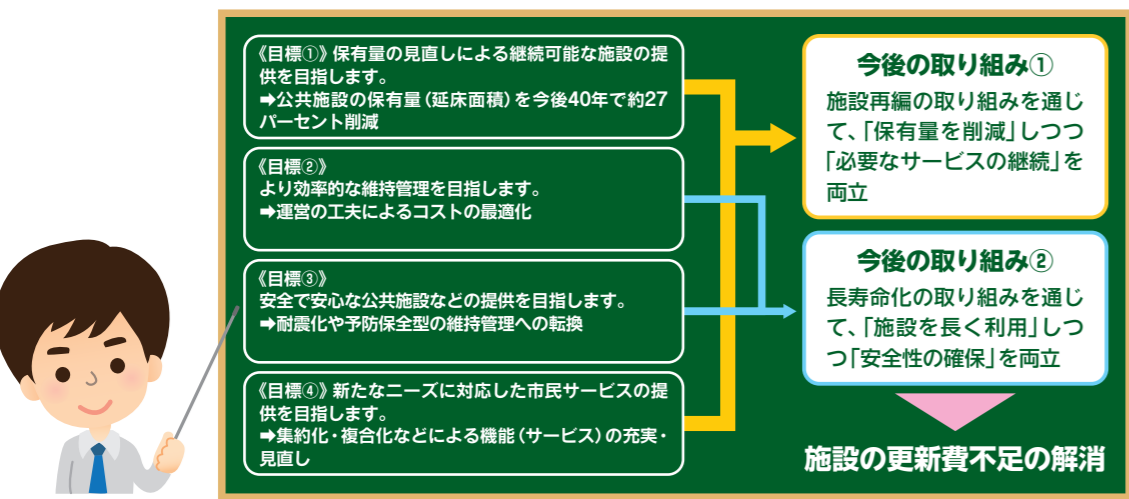
公共施設の将来を考えるって何?



市では計画を立て、改善するための目標を掲げて取り組んでいます。そして、今、目標達成に向けた具体的な行動計画も作り始めています。皆さんも一緒に考えてください。

うん。「自分たちのまち是自己たちで作る」ですね、先生。行田市の公共施設についてみんなで考えよう。でも、どうしたらいいのかな? 教えてください、やりくり室長!

公共施設は市民の財産です。「今」から将来を見据えて公共施設と向き合い、市民と行政と一緒に知恵を出し合いながら公共施設の将来を考えていく必要がありますよね。今なまだ間に合いますよ。



では、来月号で公共施設をどうしていきばいいのか詳しく学びましょう。

はい!

一緒に考えていきましょう。

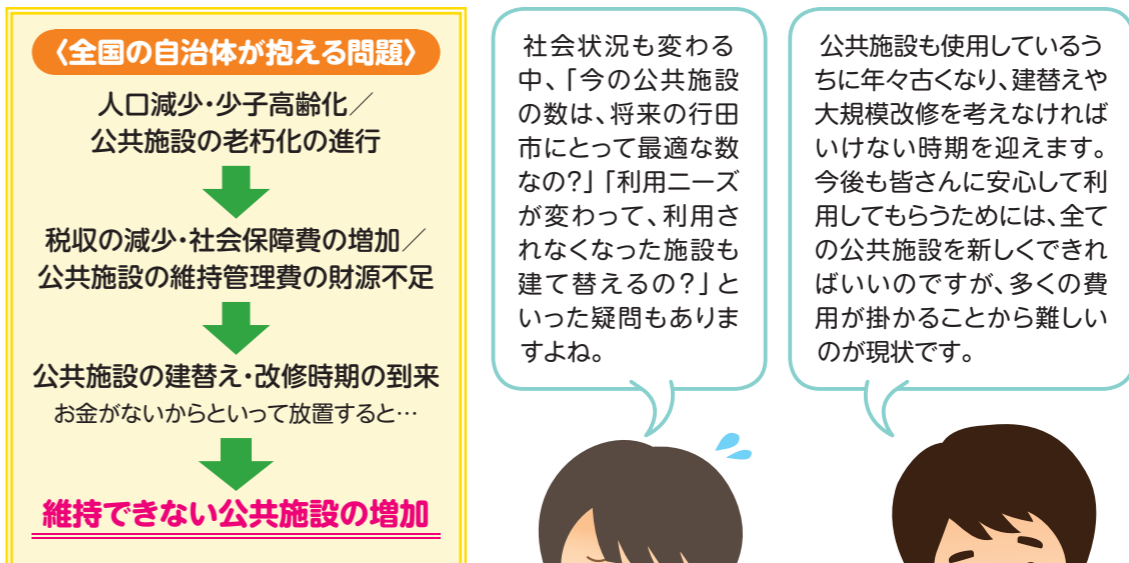
※「行田市公共施設等総合管理計画」は市ホームページ、市ホームページ、市政情報コーナーでご覧になれます。

QRコード: 公共施設総合管理計画 (市ホームページ)

行田市役所 やりくり室長: そうですね。その他にも市役所をはじめ、公民館や保育園、市営住宅など、市(自治体)が所有または管理する建物のことをいいます。

ぎょうだ足袋中学校 担任 ハス子先生: それは違います。みんなにとって身近な公共施設といえば、学校や図書館ですね。

ぎょうだ足袋中学校 1年 こはぜ君: 公共施設って、たくさんの方が利用するスーパーやコンビニ、本屋かな。



これじゃ安心して利用できないよ。

社会状況も変わる中、「今の公共施設の数は、将来の行田市にとって最適な数なの?」「利用ニーズが変わって、利用されなくなった施設も建て替えるの?」といった疑問もありますよね。

公共施設も使用しているうちに年々古くなり、建替えや大規模改修を考えなければいけない時期を迎えます。今後も皆さんに安心して利用してもらうためには、全ての公共施設を新しくできればいいのですが、多くの費用が掛かることから難しいのが現状です。